

総務省幹部ら13人接待

東北新社から計39回60万円超

総務省幹部らが菅義偉首相の長男が勤める放送関連会社「東北新社」から接待されていた問題で、総務省は22日、計12人の総務省職員と、総務省出身の山田真貴子・内閣広報官が延べ計39回にわたり計60万円超の接待を受けていたとする調査結果を発表した。総務省は職員12人中11人が国家公務員倫理規程に違反していたとみて、24日にも処分する方針だ。▼2面1欄感嘆噴出、14面1社説、32面11官僚からも批判

11人を処分へ

同省によると、すでに接待を含む12人の職員は、20人が判明していた幹部4人、16年以降に延べ計38回の

■総務省の調査で判明した東北新社による総務省幹部らへの接待
(延べ計39回60万8307円)

- 谷脇康彦・総務審議官 (接待の時期と回数) 2018年10月以降に4回、(飲食費の合計額) 11万8439円
- 吉田真人・総務審議官 16年8月以降に5回、6万5661円
- 秋本芳徳・前情報流通行政局長 16年7月以降に7回、10万3276円
- 湯本博信・前同僚官務審議官 19年2月以降に3回、2万9014円
- 玉田康人・大臣官房総務課長 19年1月に1回、9040円
- 井嶋晃三・放送政策課長 (元衛星・地域放送課長) 19年2月以降に5回、6万563円
- 吉田恭子・衛星・地域放送課長 19年8月以降に5回、6万2517円
- 三島由佳・情報通信作品振興課長 19年8月に1回、1万6632円
- 奈良俊哉・内閣官房内閣審議官 18年12月以降に2回、1万8128円
- 課長補佐級職員 19年9月以降に2回、2万1282円
- 豊嶋基輔・情報通信政策課長 19年8月以降に2回、2万1950円
- △課長級職員 18年9月に1回(合同懇親会の2次会)、7582円
- 山田真貴子・内閣広報官 (元総務省総務審議官) 19年11月に1回、7万4203円

注) ●は国家公務員倫理規程違反と判断し、24日にも処分へ。△規程違反にあたらぬと判断。山田氏の案件は利害関係者による接待にあたるが、総務省を退職済みで処分できず

接待を受けていた。1回1人あたりの飲食費は5千4万7千円台で、38回の合計額は約53万円。いずれも東北新社側の帳簿などで特定したという。

38回のうち、菅首相の長男が参加したのは20回。新たに判明した総務省職員8人は課長級が中心で、衛星放送の担当課長や元課長も含まれる。数人の職員は「一部は自ら負担した」と主張しているという。

接待を受けていた。1回1人あたりの飲食費は5千4万7千円台で、38回の合計額は約53万円。いずれも東北新社側の帳簿などで特定したという。38回のうち、菅首相の長男が参加したのは20回。新たに判明した総務省職員8人は課長級が中心で、衛星放送の担当課長や元課長も含まれる。数人の職員は「一部は自ら負担した」と主張しているという。総務省は12人中10人の接待を受けていた。1回1人あたりの飲食費は5千4万7千円台で、38回の合計額は約53万円。いずれも東北新社側の帳簿などで特定したという。

首相「長男の関与おわび」

菅義偉首相は22日の衆院予算委員会で、総務省幹部が東北新社から繰り返し接待を受けていた問題について、「私の長男が関係していた」と謝罪した。立憲民主党の奥野総一郎氏は「長男と会社

れていた。東北新社社長と説明したという。菅首相の長男ら4人が参加していた。山田氏は総務省の調査に対し、会食時の会話を「放送業界全体の実情の話はあったかも知れない。行政をゆがめる不適切な働きかけはなかった」と説明した。菅首相は「長男の関与おわび」と謝罪した。立憲民主党の奥野総一郎氏は「長男と会社

菅首相は22日の衆院予算委員会で、総務省幹部が東北新社から繰り返し接待を受けていた問題について、「私の長男が関係していた」と謝罪した。立憲民主党の奥野総一郎氏は「長男と会社

菅首相は22日の衆院予算委員会で、総務省幹部が東北新社から繰り返し接待を受けていた問題について、「私の長男が関係していた」と謝罪した。立憲民主党の奥野総一郎氏は「長男と会社